

資料2
平成30年1月24日
第26回懇談会資料

高円寺学園(仮称) 学園章デザインのご提案

佐藤 真澄

女子美術大学短期大学部造形学科デザインコース研究室

2017.11.15

学園章のデザインをご提案するにあたり、ご意見、ご要望、生徒さんたちからのアンケートをまとめました。

■学園章デザインのご要望やご意見等（資料等より）

〔高円寺地域 新しい学校づくりニュース（第2号）（H27.1）より〕

- 地域力を生かし、地域と共に歩む学校
- 豊かな感性を磨き、たくましく生きる力と強い体を育む
- 地域全体を『学び舎』と捉え、家庭・地域・学校が子どもたちの学びと成長について目標を共有する
- 杉並らしいみどり豊かな、自然に触れあえ、季節感を感じられる教育環境
- 高円寺地域が持つ地域力（教育力）を学校運営に最大限生かすとともに、家庭・地域の教育力も向上させていくために、多世代が触れ合い、互いに学び、成長する場として活用できる地域コミュニティスペースを設ける

〔第1回 学園章検討部会及び第24回懇談会における学園章・学園歌に対する意見まとめ（H29.7.28）より〕

- 学び舎 高円寺
- 「3」3校が統合すること、家庭・地域・学校の関わりを重視
- 「高円寺」「Koenshi」の表記
- 文字の入ったデザインと文字にとられないデザインの双方を提案して欲しい
- 統合する3校の伝統や成り立ちを象徴するデザイン
- 斬新なデザイン案（杉並和泉学園の学園章のような）

〔新校の教育方針（H28.10.17）より〕

- 主体的・対話的な学びを大切にしていきます
- まちのコミュニティの核となる学校を目指します
- 地域の就学前施設と連携し幼児期の学びを生かしていきます
- 互いの人格を尊重し、共生社会の基礎づくりを目指します
- すべての教職員は『チーム高円寺』の意識で学校づくりに取り組みます

■杉並第四小学校・杉並第八小学校・高円寺中学校の児童・生徒アンケート集計結果より

イメージとなるキーワード

●地域性・立地

高円寺	12名
杉の木（葉）	4名
すぎなみ	3名
高	1名
緑の町	1名
富士山	1名

●感情的なイメージ

たのしい（楽しい）	7名
なかよく（仲良く）	7名
元気	6名
えがお（笑顔）	3名
あかるい（明るい）	3名
ほこりある（誇りある）	2名
やさしい（優しい）	2名
がんばれ（頑張れ）	1名
やればできる	1名
ふれあう（触れ合う）	1名
たすけあう（助け合う）	1名
すてき（素敵）	1名
通じ合う	1名

●特徴

阿波踊り	2名
校庭	2名

●その他のイメージ

なかま（仲間）	10名
のびてゆく（伸びてゆく）	4名
ともだち（友達）	2名
しんゆう（親友）	2名
学ぶ	2名
希望	1名
歩	1名
あいさつ（挨拶）	1名
平和	1名
勉強	1名
遊び	1名
空	1名
羽ばたく	1名
声	1名
大切	1名

高円寺学園の学園章を制作するにあたり

生徒さんたちのアンケート結果は、感情的なキーワードや「ともだち」や「希望」などのキーワードが多くなっています。これは高円寺独特なものというより子どもたちが学びの場で大切だと思う普遍的なものです。しかし、これはとても重要なことだと思います。

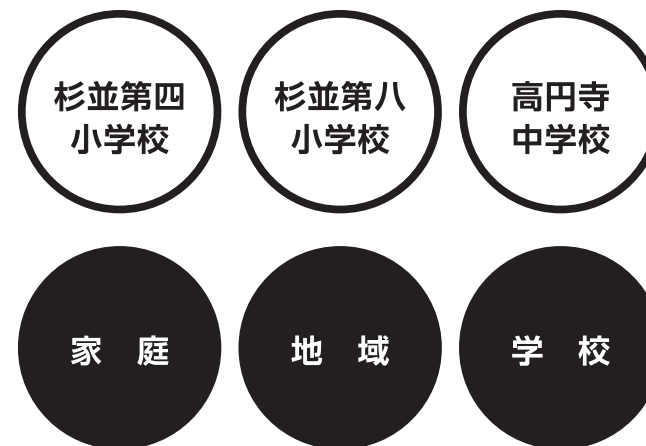
高円寺という街は地域に活力があり、人と人の繋がりが活発で深い魅力的な街だと感じます。この力は新しい学園づくりの大きなパワーとなるでしょう。周りからのサポートがあるからこそ子どもたちの日常にポジティブで大切なことがたくさん増え、そのことが学園の姿そのものになっていくと思います。

新しい学園のコンセプトである「学び舎 高円寺」は、ともすると古風な言い回しですが、高円寺の街柄から本物の学びの場（学問だけでなく人間形成などにおいて）を作り上げていきたいという意気込みを感じます。また、近くにある杉並区立杉並芸術劇場「座・高円寺」の「座」は、多くの人々が集い、活気ある場を形成していくことを表しています。学園も魅力ある人々が集い、唯一無二の地域の宝となる学び舎として育っていくことと思います。

学び舎 高円寺

魅力ある本物の学びの場をみな力でつくりあげる。

3



すべて人の持つ力と魅力によって成り立っている。

それぞれの3がつながり、大きな1になる。

上記をふまえ、人の力とつながりを基本にデザイン案をご提案します。



二重のラインで表現された3つの円は、杉並第四小学校、杉並第八小学校、高円寺中学校が、それぞれ培ってきたものを大切に持ち寄り一緒に力を合わせていく姿、そして力強く表現した円弧は、家庭、地域、学校を表し、皆が一丸となって花咲かせるように、すばらしい学び舎を作り上げていく姿を表現しています。



杉並区立高円寺学園

※ 校名の文字は、学園章と文字の関係を見るためのもので、まだ仮の書体です。



高円寺学園は、人のつながりと団結が魅力となる学園です。糸がつながり力強く結ばれていく様は、まさしく学園においての人々を表しています。三方の糸の先にある輪は、3校それぞれの個性や魅力が新しい学園につながっていくことを意味しています。



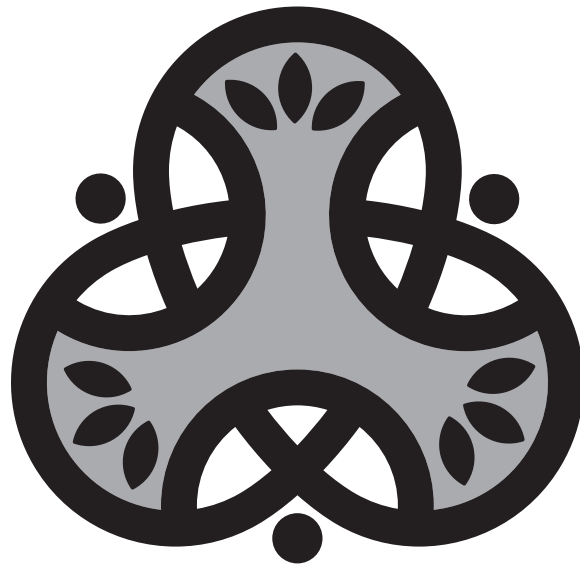
杉並区立高円寺学園



三方の円の中には、大地に足を踏ん張り両腕を大きく広げた3校の生徒がいます。
その腕はそれぞれにつながり、力を合わせて大きな花を咲かせます。それが高円寺学園の姿です。



杉並区立高円寺学園



3校が培ってきた歴史を背景に、それぞれ伸びやかに育ってきた生徒たちが手を取り合い、魅力ある新たな学び舎を作り上げていく様を表しています。



杉並区立高円寺学園



D 案のバリエーションです。D 案のコンセプトに加え、三方に立ち上がる杉の木を表現することにより、すぎっこたちが新しい学び舎に誇りを持ち、育っていく様を表現しています。



杉並区立高円寺学園



エンブレム表現。高円寺学園の頭文字 KG を配し、その下にある3つの大地は3校が培ってきた土壌を表します。そこから新しい息吹が芽生える様を両側の月桂樹で表現しています。



杉並区立高円寺学園



エンブレム表現。子どもたちに馴染みやすいカジュアルな表現。
スポーティで元気なイメージ。



杉並区立高円寺学園



エンブレム表現。盾の中の学園名の頭文字をそれぞれの学校、また家庭、地域、学校を表す3本のラインで囲み、力強い盾（学園）を表現しています。また、それを囲む円に学園の正式名称を記し、杉の葉を配しています。



杉並区立高円寺学園



高円寺の名前にもある「円」。これは、人々が集まり輪となって協力していく姿をイメージします。まさしく高円寺の魅力は人のパワーだと思います。3つの円は、3校、また家庭、地域、学校。それぞれの力が波紋となりお互いが響きあいます。そこには常に「人」がいます。



杉並区立高円寺学園



円という形は、人々が集まり協力しながら大きな力となっていく様子を表しています。そこに集まる人々は、3校の人々、家庭、地域、学校に関わる人々です。そしてみな杉並の子たちです。三方から立ち上がる杉の木のてっぺんには、みなが目指す星が輝いています。



杉並区立高円寺学園



三方から重なる三角形は、3校がそれぞれの力を持ち寄り協力して新しい形(学園)を作り上げていく様を表現しています。
また、この三角形は杉の木のシルエットにもなっています。頭文字のKGはモダンな表現にし、全体的に未来的なイメージになっています。



杉並区立高円寺学園



3校の生徒たちが両腕を広げ空に向かって伸びやかに成長していく様を表現しています。



杉並区立高円寺学園



エンブレムの表現です。頭文字のKGをカリグラフィ書体で構成し、学びの質の高さや魅力的な校風を表現しています。周りのフレームには、勝利、栄光のシンボルである月桂樹を配しています。



杉並区立高円寺学園



高円寺は地域に力があり活気に満ちた街です。学園もそのパワーを受け、活気ある魅力的な学校に成長します。

高円寺のKの字が人となり輪を作り進んでいく様は高円寺阿波おどりのようにも見え、生徒たちがタッグを組み前に前に進んでいく様子を表現しています。



杉並区立高円寺学園